

JISA 主催

デジタルビジネス人材のためのビジネスアナリシス研修コース：基礎コース 開催

平成 29 年 7 月 7 日(金)、JISA 会議室において、「デジタルビジネス人材のためのビジネスアナリシス研修コース：基礎コース」を開催した。受講者は 13 名。講師は大塚 有希子 氏 (IIBA 日本支部 教育委員、慶應義塾大学院 SDM 研究科非常勤講師)。

本研修コースは【基礎コース】と【実践コース】の 2 本立てとなっている。今回の基礎コースは、座学中心であったものの研修プログラムの中に複数のグループワークを盛り込んでおり、受講者にとってビジネスアナリシスの理論を学び、体感する良い機会となった。



基礎コースのプログラムでは、(1)デジタルビジネス人材とは (2)日本の IT 業界を取り巻く環境 (3)ビジネスアナリシスとは (4)要求とは (5)デザイン思考×システム思考の 5 つのトピックについて取り上げた。前半の(1)及び(2)では、デジタルビジネス人材とはどのような人材なのか、なぜデジタルビジネス人材が必要とされているのか、について講義があり、日本の IT ビジネスの現状や課題を改めて認識するとともに、なぜ今デジタルビジネス人材が求められているのか、について理解を深めた。



後半の(3)、(4)及び(5)では、ビジネスアナリシスの役割やソリューションしなければならない問題＝要求の分類を体系的に学ぶとともに、潜在的な要求を引き出し、ソリューションを創造するための考え方と手法を学んだ。また、講義だけでなく演習課題に取り組む時間を多くとり、事例から顕在要求・潜在要求を読み取る演習や、ブレインストーミングの練習、事象の抽象度を行き来する（今の視点よりさらに俯瞰的な視点、または個別に注目した視点から結果を識別する）訓練など、多角的に物事を捉える実践的なグループワークを数多く行った。

受講者からは、「講師の先生の説明がとても分かりやすく、演習中も多くのサポート質問をしていただき、多くの気づきを得られた」、「座学の中にグループワークが何度かあり、デザイン思考×システム思考を実践できたことは有意義だった」などの声が寄せられた。



後続の研修コースとして、7月25日(火)から26日(水)の2日間で実践コースを開催する予定である。

(上遠野)